

LPO

レッスン プラス ワン

Aug, 2000

17

ホームページ開設!

URL: <http://www.musenet.co.jp/lpo>

LPO編集室：〒174-0063 東京都板橋区前野町3-43-7
 〒542-0063 大阪市中央区東平2-2-19

楽譜専門部 ㈱松沢書店内 TEL：03-5970-5917
 楽譜専門部 ㈱楽阪大阪内 TEL：06-6762-9668



『ピアノのためのようじからの4き』

木幡律子
こばたりつこ

最近各地のピアノ講座で先生方とお会いして感じることは、ひと昔前のバイエル、ツェルニー、ブルグミュラー（ロマン初期）、ソナチネ〜という古典期重視の路線にとらわれず、今では小さいころから多岐にわたった曲（バロックから現代まで）を弾かせるという教育方法が結構浸透しつつあるということです。また、子供のコンクールでも、かなりバラエティーに富んだ選曲が増えてきたことは、大変喜ばしいことです。おかげさまで8巻からなる『四期別名曲集』（全音）も皆様にご愛用いただいておりますが、当時、入れることができなかった名曲もたくさん残っており、またかねてより先生方から「小さな子供にとって持ち運びが楽なように、四期の曲が一冊にまとまった曲集を作ってほしい。」というご要望もあって、この度「ようじからの4き」（全音）発刊となりました。「ようじからの4き」は、ピアノを始めたばかりの最初の発表会から、小学校中学年くらいまで弾ける素敵な曲集です。

小さい子供のレッスンで先生方が苦労されているのは、どうしたらピアノに興味を持たせられるかということではないでしょうか。導入期は、子供にとって未知の世界に対する好奇心もあり、新しい知識を取り入れるのに意欲的ですが、見よう見まねで「猫ふんじやった」ぐらゐが弾けるようになると、新しい音符を自分で読んだりリズムを教えたりといった努力を億劫がるようになります。しかし不思議なもので、好きなものは、猫ふんじやったやアニメの主題歌のように楽譜がなくても弾いてしまいます。また子供だから子供っぽい曲が好きかというところでもなく、大人から見れば不協和音、無調性、変則拍子など難しそうに思えるものでも、何か好奇心をくすぐる要素を持つ曲などは、意外とあっさり弾いてしまいます。そういう意味で「ようじからの4き」は、どの時代の曲もそれぞれ個性的な魅力があり、なおかつ子供の創造力をかきたてるような標題のついたものが収められています。個性的なものの中には、珍しいリズムが一貫して繰り返される

「ポールあそび」（カバレフスキー）、カノン形式で書かれた「ポリフォニーの曲」（グリグ）、左右の手が常にスタックカートレットで対照的な「かれのジャムパンを失敬して食べる方法」（サティ）など、テクニクも同時に学べる曲がたくさんあります。またバロック時代の優雅な舞曲からロマン期のワルツ、東洋風のかわった踊り（ハチャトゥリアン）など、時代や背景を子供たちと楽しく想像しながら様式を学ぶことができます。そして何よりも重要な感情表現である「うたう心」を育てるために、レガートをたっぷりつかったシューマンやチャイコフスキーの小品が収められています。また幸運なことに、今回初めて日本の版權を獲得できたプロコフィエフとバルトークを加えることができました。これからのピアノリストには欠くことのできない作曲家でしょう。ピアノの曲はなんて数多くあるのでしよう。そしてピアノはなんて表現力が豊かな楽器なのでしょう。生徒が初歩の段階から多面的なピアノの魅力に触れて、感動する心、そして自由に表現する楽しさを身につけられるように、探求心のある先生方！ どうぞためしてみてください。

なお、「ようじからの4き」は近々、ビクターエンタテインメントよりCD化される予定です。

●プロフィール

東京芸術大学、ジリアード音楽院大学院卒業
 後、ベルリン芸術大学で研鑽を積み、マリア・カナ
 ルス国際ピアノコンクールでメダル受賞。

帰国後は、神奈川フィルハーモニーとの共演をはじめ、各地でリサイタルや室内楽などで活躍中
 現在、洗足学園大学講師。



●おもな著書

『ピアノのための近現代名曲集 上・下巻』アブリゲ 自作歌曲による12のピアノ曲（全音）、CD「新ピアノ名曲全集 全8巻」(ロマンティック・ライヴ)

介護の現場で

『ラララ12か月』

飯田 和子
谷口 啓子
中森智佳子

「介護保険制度」が導入され、早4ヶ月。まだ試行錯誤の段階とはいえ、来たる高齢化社会に向け、国を挙げて大きく一歩を踏み出したことに変わりありません。

そんな中で『ラララ12か月』の著者である「びあのくらぶ」の飯田和子先生、谷口啓子先生、中森智佳子先生が、東京・下谷(台東区)にある老人医療施設「飯田医院」にて、月2回「音楽レクリエーション」を行なっているというしやると聞き、早速お話をうかがいました。

— 活動のきっかけは？

●飯田 きっかけは『ラララ12か月』です。私たちはあの本を導入期の子ども向けに作りましたが、いざ出版してみると、歌と一緒に収録した指あそびやリズム運動がお年寄りのリハビリにとってもいい、という声が各方面から聞こえてきた。そこで、自分たちでも実際に活動して確かめてみたいと思ったんです。◆谷口 またその頃、私の義母が事故で寝たきりとなって、リハビリが必要になったんです。それである日、飯田医院の訪問看護婦さんがいらした時、ちょうど『ラララ12か月』のミュージックデータをかけて、義母と手あそびをやっていたら、興味を示してくれたんです。それで「こんなこともやってみよう」といういろいろな曲を紹介したら「病院にもデータで集まっている人がたくさんいるから、そこでもやってみないか」という話になった。それで、昨年12月から、デイケアのレクリエーションの時間をお借りできることになったんです。

— 「音楽レクリエーション」では、具体的にどのようなことを？

●飯田 形態は毎回一時間の15~20人でのグループレクリエーションです。開始にあたっては、こちらの都合のいいときだけやらせて下さい、というのではなく、きちんと年間計画を立て、月2回、病院のデイケアの体制に組み入れてもらうことにしました。また、事前にデイケアの現場を見せてもらったり、スタッフの方とミーティングをさせて頂き、普段はどういうメンバーでどういうレクリエーションをやっているのか、個々のお年寄りは何か、などを打ち合わせました。そして、私たちのベースは『ラララ12か月』です。私たちが大事にした歌や合奏を中心にしながら、以前からこちらのデイケアで

- I. お話し「物売りの声」 どんな物売りさんがいるか？
金魚売り、風鈴売り、豆腐屋さん……
- II. 体操(音楽:「とんとんとんひげいさん」)
“ラララ”のデータを使って肩の上げ下げ、首まわし、足の上げ下げ……
- III. 指あそび
①「はたる」データ使用。歌に合わせて「ゲー」「パー」
②「うみ」データ使用。歌に合わせてスクーフで波遊び
- IV. 合奏「うみ」
全員が玉子シェーカー、レインシャワー、貝がらで合奏
- V. 歌「われは海の子」「浜辺の歌」(ピアノ伴奏つき)
「東京音頭」「炭坑節」(太鼓や踊りつき)

7月のプログラム、テーマは「海」。『ラララ12か月』のミュージックデータを体操のバックミュージックなど、効果的に使っていました。



左より、谷口先生、飯田先生、中森先生。レクリエーションが終わって帰る頃には、お年寄りから拍手が沸き起こるといって、まさに“スター”な先生方です。

やっていたらした一対一での対話、リハビリ体操なども取り入れることにしたんです。

また、私たちは3人いるものですから、歌とお話は私、指あそびや機能訓練を含むリハビリ体操を中森先生、そして、谷口先生がリズムと合奏、というふうにおおその役割分担をつくりました。

こうして始動していったわけですが、毎月の具体的なプログラムに関しては、その都度FAXなどでやりとりしています。とにかく3人ともやる気十分なので、FAXでは「次はあれやりたい」「これやりたい」と行き交います(笑)。それを調整した上で、楽器は何を用意するのか、小道具は、と進めていきます。また楽器に関しては、お年寄りが使いやすいように、ハンディのある人向けに開発された楽器を調べたり、手持ちのものに少し工夫したりもしています。

— プログラムを組む上で、また実際の現場での注意点は？

●中森 明治・大正・昭和生まれの方々が一緒に集まりますので、例えば、なじみのある

歌もそれぞれ違い、ただ単に「お年寄り」と一括りにはできず、「年代の共通性」ということに関しては気を遣います。

また、お年寄りの身体機能に関して。例えば、お年寄りは首をぐるぐる回してはいけないんです。だから全回転じゃなくて半回転、というようにお年寄りに無理のない運動を心がける。

あと、「地域性」を大事にする。こちら(飯田医院)は本当に東京の下町ですから、歌もこの地ならではの『湯島の白梅』などは、すごく喜ばれる。「この歌詞にある地名はこの辺を言うんだよ」なんて教えて下さるんです。でも、これを別の場所でもやってもそんなには受けられないでしょうね。もちろん歌はご存知でしょうけれど、曲に対する思い入れは全然違う。そういう会話が引き出せて、みんな盛り上がりがあるような歌選びが大切。

◆谷口 あと、緩急のメリハリを付けることも大事。特に今みたいな暑い日には、激しいことをやったらあとは静かなものを、とか。

●飯田 実は、私たちが最初は頑張りが足りなくてたんです(笑)。子どもに接する時みたいに、次々にやらないと飽きられちゃうんじゃないか、っていう気持ちがあった。でも、お年寄りは、逆にゆつたりとした「間」が大事だっていうことが、3回目くらいにやるとわかった(笑)。

また、視線の角度とか、椅子の並べ方にも気を使いますね。お年寄りはちよつとしたことにも敏感に反応されますから。

●中森 失敗もいろいろありました。こんなエピソードもあるんです。『浜千鳥』をみんなで歌った時、一人の方が、学校のクラスに親を亡くしたお友達がいなくて、この歌は「親を亡くした浜千鳥」なのね。それで、この歌をクラス全員で泣きながら歌ったことを話してくれたんです。そうしたら、

それを聞いていた周りの人たちもしんみりして「いい歌だねえ……」ってもらい泣きしちやっただけです。

◆谷口 いくつになっても親を思う気持ちは同じなんです。親が亡くなっていても「お父さんお母さんに会いたい」と思っている。だから「親をさがして……」というフレーズは心に迫るものがあるんだと思います。

■中森 また「お正月の遊び」をテーマに一人一人に「お正月にはどんなことをして遊びましたか？」と質問していった時のこと。双六、凧上げ、ペーゴマ…… いろんな遊びが出てきた。すると、あるおじいちゃんが「なつかしいなあ」とって泣いちゃったり。

◆谷口 あと、先日ヘルパーの方が「ミュージックベルを貸してほしい」とおっしゃったんです。七夕の行事に自分たちで練習してお年寄りに聞かせたい、って。それまでは全然音楽に興味なかったのにね。これはうれしかった。

●飯田 音楽レクリエーションの時間には、ヘルパーの方も毎回お年寄りについて下さるんですが、始めた当初は「街のピアノの先生がどんなことをするのかしら」といぶかしがられていた部分もあったと思うんです。それは当然のことです。でも、開始から半年が過ぎて、私たちがどういう気持ちでこの活動をしているのか、ということが少なからず伝わってきていると思うんです。

—— 今後の展望は？

◆谷口 今回、まずは1年間ということをやっていますが、以後はそれぞれの地元で、仲間とともに展開してもよいのではないかと思っています。

■中森 こういふ活動は、別に流派があるわけではないし「この本の通りでない」ということはないのだから、自分の体験・経験をもとに、自分らしいものができれば一番いい

のでは。歌が上手な人は歌を歌えばいいしお話が上手な人は、それをメインにすればいい。一口にデイケアと言っても、いろんなところがあります。

私自身、「音楽のもたらす力」に惹かれ、7年前から少しずつ関連分野の勉強をしていきました。また今年、介護現場を音楽の見地からだけでなく、実際の現場からも見てみたいと思ひ、ホームヘルパー2級の資格を取り、老人保健施設でも活動しています。そういう場にも身を置くようになって、介護現場での「音楽」の需要を改めて感じていきます。

●飯田 でも、一人で全くゼロからのスタート、というのでは不安ですよ。だから、私たちの今回の活動の軌跡を何らかの形で示すことができれば、とは思っています。

◆谷口 ただ、実際は楽器の手配や交通費の問題など、仕事としてはとても成り立たないのが現状です。あくまでボランティアとして、それでも自分の音楽を地域に還元したいという情熱が持てるかどうかだと思います。

■中森 自分で勉強することも大切ですが、「無償だからなんでもい」ということでは決してないから。

●飯田 現場に受け入れてもらうには、自分のやっていることに客観性を持ち、一人よがりにならないことが大切です。

■中森 また、活動の場を探している人へ。常にアンテナを張っておくことが大事。アンテナを張っておけば、そういう情報は新聞とかどこかしらに必ず出ているはずですから。

★三人 求めよ、さらば与えられん！

いかがでしたか？

9/6発売ムジカノーヴァ別冊「リチャレンジ！音楽療法士」(予価1800円)

に、飯田先生によるこの活動のレポートが掲載されます。要チェック！

生徒の音楽的自立をめざすレッスン

第七回 江口 寿子

☆作曲するよ！

「クリスマスだから作曲するよ！」
ジュンくんは、一年生のクリスマスの日、そう宣言しました。そして、五年生になるまでに、一〇〇曲以上の作品をつくりました。

ジュンくんが作曲するとき、彼は何も楽器をつかいません。陸橋の上から電車を走らせているときや、道を歩いているときに、頭の中で音を組み立てて、作品を完成させます。

つぎに、頭の中に入っている完成した作品を五線譜に書いていきますが、彼にとっては、作曲そのものより楽譜に書く作業のほうが大仕事です。「デコボコの音符がならび、消しゴムをつかったあとでまっ黒になった楽譜がでかかります。最後に、その楽譜を見ながら、作曲した曲をピアノで弾くために練習します。が、彼にとっては、ピアノで弾けるようにすることが最大の難関なのです。ジュンくんは、ピアノが下手なわけではありません。むしろ、ピアノは上手です。それなのに彼が自分の作品を弾くのに苦労するのは、彼の作品のレベルが、彼のピアノの技量をはるかに越えてしまっているからなのです。

☆自分でつくろう……。

先生がレッスン室に入っていくと、ア

キちゃんピアノを弾いていました。テレビ「マーシャルで盛んに流れている曲です。アキちゃんは三年生です。」

「先生。このつづき教えて！」
「こまでしか、テレビでやらないんだもん……」
「ごめんね。先生、わからないわ」
「じゃあ、適当に自分でつくろう……」
「アキちゃん、つづきをどんどん自分でつくりながら弾きつづけると、ステキな終わり方で曲をしめくりました。先生は、心の中で脱帽しました。」

ジュンくんもアキちゃんも、三歳から絶対音感をつける練習をしたので、絶対音感をもっている子どもたちです。絶対音感をもっている子どもたちが音楽のしくみを学ぶと、音を頭の中で「積み木遊び」のように組み立てて作曲をはじめます。ジュンくんやアキちゃんにとって、作曲はむしろ楽しいものではなく、「楽しい遊び」なのです。

それにひきかえ先生は、楽譜がないと弾きたい曲も弾けないし、自分で曲をつくることなどは夢のまた夢です。先生だけではなく、これまでのピアノレッスンを受けた人はみんなそうです。

もし、ピアノを学ぶすべての人が、ジュンくんやアキちゃんのような力をもつことができれば、どんなにピアノを弾くことが楽しいものになるでしょう。

この二人の姿こそが、「音楽的自立」をめざして歩みつづけてきた子どもたちの成長した姿なのです。

8月の新刊&おすすめ本

おすすめの音楽書

●モーツァルトはどう弾いたか

インターネットで曲が聴ける

久元祐子 著

モーツァルトはすぐれた作曲家であるとともに、すぐれたクラヴィア奏者でもあった。演奏者としてのモーツァルトは、どのようにピアノを弾いていたのか？ ピアニストでもある著者が読み解く。

(丸善ブックス 1600円 好評発売中)

●子供と聴きたいクラシック 100

宮本英世 著

『こんな時なにを聴く』の著者が、「子供と聴く」をテーマに、「季節に親しむときに」「楽器の特徴は」といった切り口で100曲を解説。レッスンの“ネタ”づくりにぜひ!! 肩の凝らない関連話題も満載。

(音楽之友社 1800円 近日発売)

●子どもとつくる劇あそび「ドラムジカ」

手話も取り入れた幼児・低学年の楽しい表現活動

伊藤嘉子 編著

「ドラムジカ」とは、既成の曲をつなぎあわせて、曲と曲の間を簡単なセリフ、劇でつなぐもの。台本、舞台装置、背景の作り方も収録されているので、発表会の余興にも使えます。

(音楽之友社 1500円 8/上)

* 教本・曲集 *

●初心者ためのピアノの絵本「おさるのお話し」

ピアノ奏法の基本を「14匹のお猿」の動作・感情表現を通して体得。「まねっこ(ゴリラ)」「森の曲芸師(手が猿)」等、全14曲。「猿まね遊び」でイメージをふくらませて演奏しましょう。(M.ゴールドストーン 著/安田裕子 訳 全音 1100円 8/20)

●ピアノランド・音楽ノート

おなじみ「ピアノランド」から、音楽ノートの登場です。著者である樹原先生の工夫がいっぱい! 2段、3段、4段があります。(樹原涼子 著 音友 各190円 8/上)

●ピアノで学ぶ はじめての楽典

～バイエル上巻とともに

頭で「理解」するのではなく、ピアノレッスンを通して「体験」として楽典がわかる。大人の方にもお使いいただけます。

(大矢公子 著 共同音楽 1000円 8/中)

●決定版! こどものクラシック・ベスト50

「亡き王女のためのパヴァーヌ」「乙女の祈り」など「弾きたい!」と思う名曲がやさしいアレンジで。レッスンの併用曲集にもどうぞ! (デプロ 1600円 8/中)

●楽しいバイエル併用

こどものパーティー・アルバム100曲集

パーティー年間の行事、ちょっとしたイベントに大変重宝する曲を、盛りだくさんで100曲収録! (ドレミ 2000円 8/下)

●ピアノソ・イン・デュオ

好評の「イン・デュオ」シリーズ、ピアノソの登場! 「リベルタンゴ」は2台用アレンジも収録。華やかな「タンゴ」の世界をお楽しみ下さい。(ヤマハ 1600円 8/中)

●楽しく弾けるキーボード/コードとハーモニー

キーボードをプロ同様に弾けるための、簡単かつ体系的に考慮された方法を紹介。コードとコード進行を用いた演奏方法とその応用を学ぶことができます。(ATN 2800円 8/下)

●ブラムス 性格作品 演奏の手引き

多彩な内容を持つブラムスの性格作品(Character Pieces)の内容、形式、解釈を深く掘り下げ、また具体的な演奏の手引きを解説。ご自身の楽曲研究に、またレッスンの助けとして幅広く使えます。

(T.シューマッカー 著/中村菊子 監修/大竹紀子 訳 全音 1800円 8/20)

●simpleな技術で五感にせまるピアノ・アンサンブル集 原風景音旅行

7月号2・3面でご紹介の折山もと子先生のピアノ・アンサンブル集です。夏のレッスンで、生徒さんとぜひ弾いてみて下さい!

(丹野修一・折山もと子 著 人間と歴史社 1800円 8/上)

●華麗なる2台ピアノのための曲集

①ディズニー ②ポピュラー

2台ピアノならではの華麗なアレンジ。弾き応えも聴き応えも充分。腕のみせどころ!

(ヤマハ 各1800円 8/上)

* ヒット曲&TVテーマ曲 *

●ヒーリングアベース 母なる大河・時を超えて(喜多郎)

話題のヒーリングミュージック。NHKスペシャル「四大文明」のテーマ曲です。

(ジョイン 500円 8/中)

●ヒーリングアベース タイム・トゥ・セイ・グッバイ ナトゥラレーサ・ムエルタ

お問合せの多かった、サラ・ブライトマンの名曲がピースで登場。

(ジョイン 500円 8/中)

●七色(Kiroro)

期待のコンセプトアルバム「七色」をピアノ弾き語りで。(シンコー 1200円 8/上)

●be alive/prove my heart(小柳ゆき)

カネボウ「テストイモ」CMソング。

(ジョイン、ドレミ 各500円 8/上)

●青春時代1.2.3!/バイセコー大成功!(ブッチモニ)

新生ブッチモニの新曲をぜひ!!

(ジョイン 500円 8/上)

●NOT FOUND (Mr. Children)

ドラマ「バスストップ」主題歌。

(ジョイン 500円 8/中)

●MERMAID - マーメイド - (GLAY)

(ジョイン 500円 8/中)